

# Press Release



2016年9月30日  
東京都新宿区西新宿2-1-1  
株式会社 日本設計  
代表取締役社長 千鳥 義典

## 日本設計フィロソフィー並びにコーポレートタグライン、 新コーポレートロゴの策定について

---

株式会社日本設計（代表取締役社長 千鳥義典）は、2016年10月3日、中長期の経営の視点からポストオリンピックの時代を展望し、更なる持続的成長を実現するため、当社創立以来受け継がれてきた価値観を再確認し、未来に向けて目指す企業像を示した経営の基本指針として、MISSION（創造の理念）、VISION（未来像）、SPIRIT（行動指針）からなる「日本設計フィロソフィー」を策定、タグラインを「think ++（シンク プラス プラス）」としました。また、ロゴの刷新も合わせて行いました。

「MISSION 創造の理念」は、私たち日本設計グループが、企業活動を行う上で最も大切にしたいと考えている価値観を表しています。また企業として目指すべき方向性を示す「VISION 未来像」として「未来価値の共創」を掲げ、クライアントの未来価値はもちろん広く社会全般に「共創」を通じて新たな価値をもたらし、今、そして未来に向け貢献し続けて行きます。

タグライン「think ++」は、MISSION で掲げた理念をベースに、クライアントをはじめ、広く社会の皆様と共に新たな価値を創造して行きたいというメッセージと日本設計としての決意を発信するものです。

私たちは、今後一層、クライアントをはじめとするステークホルダーの皆様、様々な分野のプロフェッショナルの皆様とパートナーシップを構築し、協力して、「未来価値の共創」に継続的に取り組むことにより、企業グループとしての成長を実現させて行きます。

（本件お問い合わせ先：日本設計広報室 050-3139-7003 [kouhou@nihonsekkei.co.jp](mailto:kouhou@nihonsekkei.co.jp)）

## Mission 創造の理念

### ひとを思い、自然を敬い、未来を想う

私たちは、豊かで自由な「ひと」の営みや、「ひと」と「ひと」のつながりが生まれる場を創ります。  
私たちは、自然の摂理を尊重し、歴史から学び、建築、都市、環境のデザインに取り組みます。  
そして、私たちは、世代を超えた時間に耐えられる、「未来価値」を創造していきます。

## Vision 未来像

### 未来価値の共創

私たちが、都市や環境のデザインを通じてかたちにする「場」や「まち」は、長い時間の経過の中で、その価値が認められ、さらに、その価値を増幅させ、新たな価値を創造する可能性をもっています。  
また、未来に向けて、今ある「場」や「まち」に、新たな価値を吹き込むことも、私たちの大切な役割です。  
私たちは、そのような価値を「未来価値」と呼びます。

「未来価値」は、私たちだけの考えで、創り出せるものではありません。  
クライアントが望む未来はなにか、社会が求める未来はなにかを、クライアントや社会と共に考え、共に創り出していくという、「共創」の取り組みこそが、未来につながる価値を生み出していくと考えます。

## Spirit 行動指針

### 真のプロフェッショナル集団

私たちは、クライアントや社会が求めている本質を見極め、クライアントや社会をも巻き込みながら、未来価値を共創し実現するよう、弛まぬ努力を続け、スピード感を持ち、果敢に挑戦します。

私たちは、総合設計事務所に求められる社会的使命と責任を全うするため、誠実かつ公正に行動し、自らの技術品質の研鑽に努めます。

私たちは、各人の個性や価値観を互いに認め、尊重し、信頼し合うと共に、それぞれが責任ある公平な立場から、互いに批評、評価し、高め合う、自立した集団を目指します。

私たちは、自然を敬う心を大切に持ち、社会と共に、豊かで自由な営みを生み出す環境を創造します。



NIHON SEKKEI

think<sup>++</sup>

私たちの仕事は、クライアントや社会にとっての未来価値を深く洞察しながら、  
まだ形のないものを思い描き考えること、「think」から始まります。  
私たちは共に「think」を育み、「未来価値」という「+(プラス)」を創造していきます。

しかし「未来価値」は私たちの「think」だけでは創り出せません。  
クライアントや社会と共に考え、共に創り出していく「共創」という  
もう一つの「+(プラス)」が加わってこそ  
未来につながる価値は生み出せるからです。

これまでも、これからも、私たち日本設計は「think ++」の精神と行動で、  
クライアントや社会の信頼に応えていきます。



NIHON SEKKEI



NIHON SEKKEI



NIHON SEKKEI